令和5年度 自己評価結果公表シート　　　　　　吹田市立認定こども園山田第三幼稚園

1　本園の教育目標

「かがやくひとみ」
・いきいきと遊ぶ子供。
・自分も友達も大切にする子供。
・豊かな感性をもち、表現する子供。

2　本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

「つなげよう 笑顔と笑顔のまあるいわ」
～集団あそびを通して～
＊努力目標達成のための手立てを考えて実践する.

3　評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理　由
①努力目標に向けて	A	研究委嘱園として一人ひとりの遊びに寄り添い、子供理解を深め、援助について考察し、つながりを意識した遊びや活動について研究を進めることができた。
②異年齢のかかわりを通しての保育	B	異年齢と交流し、関りを深めていく中で、あこがれの気持ちや、優しさや思いやりの気持ちを育み「気持ちが通じ合う心地よい関係」を大切にできた。
③安全管理・環境整備	A	毎月、安全点検を行い、不備な個所については改善を進めてきた。子どもにとって安心安全に過ごせるよう保育環境を整備した。

4　学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理　由
B	・集団あそびを積極的に実践し、研究協議を通して子供理解を深め、つながりを意識した保育に取組めた。 ・子供達は友達の良さを感じながら、幼稚園生活を楽しむことができた。 ・互いの保育実践から学び合う機会が少なかった.

5　今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教員の質向上	研究委嘱園2年目として、集団遊びについて子供のつながりを意識した遊びや活動の流れを可視化し、見通しのある保育を大切にしていく。
異年齢での交流	異年齢交流の長期的な計画と短期的な計画を立て、あこがれや、思いやりの気持ちが育つよう、意図的なかかわりや、自然なかかわりについて工夫する。
安全管理	災害時、緊急時にも落ち着いて行動がとれるよう、様々なケースや時間帯を具体的に考え、避難訓練を行い、災害に対応できるよう職員間で共有する。

◎3.4.の評価結果の表示方法

A十分達成されている　B達成されている　C取り組まれているが成果は十分でない　D取組が不十分である